



## 第119号 2014年9月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

### 主な内容

史料探究 杉文の毛利家奥入りは史実だった	P4
ふるさと萩とゆかりの人々 狂言師 和泉元彌	P6
萩・むつみの恵 山本ヒロ子(萩市)	P7
萩菓匠 慎 村田慎太郎(萩市)	P8
気になるお店紹介 胡麻衛門(萩市)	P9

平安古本町筋に久坂玄瑞誕生地の石碑があります。

天保11年(1840)、藩医の家に生まれ藩校医学所好生館に入学しますが、14歳の夏に母、翌年に兄、父を続いて亡くし、15歳で孤独の身に。17歳で九州遊学後、松陰との文通を経て翌年の春、松本村を訪ねました。松陰は「防長年少第一流」と評価。その年12月、松陰の妹・文を妻として迎え、杉家に移りましたが、間もなく京都や江戸で尊皇攘夷運動に奔走。元治元年(1864)7月、禁門の変で25年の生涯を閉じました。

大河ドラマ「花燃ゆ」の放送が始まる来年1月、萩市の中央公園(旧市民球場跡地)に玄瑞の銅像が完成します。

**久坂玄瑞 没後150年**  
**久坂玄瑞誕生地**



# 花燃ゆ

## 大河ドラマ「花燃ゆ」

父・杉百合之助役、長塚京三さん

母・滝役、檀ふみさん



7月11日、「花燃ゆ」の追加キャストとして、文の父・杉百合之助役の長塚京三さん、母・滝役の檀ふみさんなどが発表されました。

制作統括の土屋勝裕さんは、今回発表したメンバーは、特に松陰を支え、志を受け継いでいった人物。文と家族、仲間たちが命をかけて激動の幕末を乗り越えていく姿をお楽しみに」とコメントしました。

[前列左から] 奥田瑛二さん(玉木文之進役)、長塚京三さん(文の父・杉百合之助役)、檀ふみさん(母・滝役)、井上真央さん(ヒロイン文役)、原田泰造さん(兄・梅太郎役)、優香さん(姉・寿役)、[後列左から]大野拓朗さん(野村靖役)、要潤さん(入江九一役)、石丸幹二さん(周布政之助役)、北大路欣也さん(毛利敬親役)、瀬戸康史さん(吉田稔麿役)、劇団ひとりさん(伊藤博文役)



「花燃ゆ」の題字は、英漢字アーティストとして活躍中で山口県生まれの國重友美さんが担当。「萩は母方の故郷、松下村塾に初めて行ったのは小学生のとき。新しいものにチャレンジする精神、世界に挑む志を持つ私のルーツはここにある」とコメント。

### 新キャストの皆さん

- 長塚京三さん(杉百合之助役) 1945年(昭和20)生まれ。東京都出身。大河ドラマ「篤姫」で篤姫の実父、島津忠剛役など。
- 檀ふみさん(杉滝役) 1954年(昭和29)生まれ。東京都出身。NHK連続ドラマ「藏」で佐野佐穂(井上真央が子役を演じた田乃内烈の叔母)役など。
- 原田泰造さん(杉梅太郎役) 1970年(昭和45)生まれ。東京都出身。大河ドラマ「篤姫」で大久保正助(利通)役、「龍馬伝」で近藤勇役など。
- 優香さん(杉寿役) 1980年(昭和55)生まれ。東京都出身。大河ドラマ「新選組!」で深雪太夫役など。
- 奥田瑛二さん(玉木文之進役) 1950年(昭和25)生まれ。愛知県出身。大河ドラマ「八重の桜」で佐久間象山役など。
- 北大路欣也さん(毛利敬親役) 1943年(昭和18)生まれ。京都府出身。大河ドラマ「篤姫」で勝海舟役、「江ノ姫たちの戦国」で徳川家康役など。
- 石丸幹二さん(周布政之助役) 1965年(昭和40)生まれ。愛媛県出身。ドラマ「半沢直樹」などに出演。
- 瀬戸康史さん(吉田稔麿役) 1988年(昭和63)生まれ。福岡県出身。大河ドラマ「江ノ姫たちの戦国」で森蘭丸役など。
- 劇団ひとりさん(伊藤博文役) 1977年(昭和52)生まれ。千葉県出身。ドラマ「我はゴッホになる!」などに出演。
- 要潤さん(入江九一役) 1981年(昭和56)生まれ。香川県出身。大河ドラマ「龍馬伝」で沢村惣之丞役、歴史番組「タイムスクープハンター」などに出演。
- 大野拓朗さん(野村靖役) 1988年(昭和63)生まれ。東京都出身。「Let's天才てれびくん」などに出演。

## 文と萩物語「花燃ゆ」大河ドラマ館 前売入場券発売中!

平成27年の大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に合わせて開館する大河ドラマ館の前売入場券の販売が始まりました。

- 販売期間 平成27年1月10日まで
- 販売窓口 ローソン、チケットぴあ、萩市観光協会など。  
※詳しくは、協議会公式ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.hagi.lg.jp/fumi-hagi/>
- 問い合わせ 萩市大河ドラマ館入場券販売管理センター (080・2922・7750)

### 文と萩物語「花燃ゆ」大河ドラマ館

- 開館期間 平成27年1月11日(日)～平成28年1月10日(日) ※期間中無休。
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ところ 旧明倫小学校体育館
- 問い合わせ 萩市大河ドラマ推進室 (0838・25・3139)

種類	区分	前売券	当日券	備考
普通入場券	大人	400円	500円	高校生以上は大人
	小・中学生	160円	200円	
一般団体割引入場券	大人	/	400円	有料入場者20人以上の団体
	小・中学生		160円	
	高校生		400円	
学校行事団体入場券	高校生	/	無料	萩市内の学校
	小・中学生		160円	萩市以外の学校
萩物語セット入場券	大人	1,000円		大河ドラマ館と松陰神社宝物殿 至誠館、萩博物館とセット券
	小・中学生	400円		
障がい者割引入場券	大人	400円		障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方
	小・中学生	160円		

**久坂玄瑞没後150年  
慰霊祭に久坂玄瑞役・  
東出昌大さん**

今年、元治元年（1864）の禁門の変で亡くなった久坂玄瑞の没後150年にあたります。

7月19日、玄瑞の墓所（樺東・吉田松陰墓所で慰霊祭が行われ、大河ドラマ「花燃ゆ」で久坂玄瑞を演じる東出昌大さんが出席しました。



旧萩藩校明倫館南門前 [左から] 東出昌大さん(久坂玄瑞役)、伊勢谷友介さん(吉田松陰役)、井上真央さん(ヒロイン文役)、大沢たかおさん(小田村伊之助役)、優香さん(姉・寿役)、原田泰造さん(兄・梅太郎役)

東出さんは、初めて訪れた萩について「きれいな町並み。松下村塾では、松陰先生のもと多くの人物が、ここで議論したことには思いを馳せながら、そういう熱を皆で作っていききたい」と話しました。

**大河ドラマ「花燃ゆ」  
萩市ロケからいよいよ  
クランクイン**

8月5日から13日にかけて、萩城跡や旧萩藩校明倫館、菊屋横町

など、萩市内での撮影が行われ、小浜（萩城跡東側海岸）での撮影には、100人近くのエキストラの参加がありました。

9日には旧明倫小学校で萩ロケ取材会があり、主要な出演者がドラマ衣装を披露。土屋さん（制作統括）が、「幕末、萩から日本を動かした若者たち、その若者たちを育てた女性たちの熱いドラマを送り届けたい」とあいさつしました。また、出演者の皆さんがドラマに対する意気込みや萩の印象などを話しました。

**取材会の「コメント」**

■井上真央さん「萩で出会う人たちの吉田松陰先生や久坂玄瑞、高杉晋作に対する思いが、エネルギーになっています。町に雰囲気がある、それを町の皆さんがみんな守っていると感じました。見聞や金太郎、少し前に訪れた時に食べた、たまげますがとてもおいしかったです」。

■大沢たかおさん「萩の皆さん、全国の皆さんに、心から愛されるドラマになるように、1年間頑張りたい。萩は、昔のものがしつかり残っていて、当時この壁や海を見ながら歩いたのかとか、リアルに感じた。歩いているだけで当時のものを感じ、撮影している気分になり身が引き締まる思いです」。

■伊勢谷友介さん「尊敬する吉田松陰先生を演じさせていただけること、並々ならない縁を感じている。萩は第二の故郷。萩の皆さんは歴史のなかで過している、我々も歴史のなかで撮影ができるという印象。未来のために狂える、そんな男になれるように、この芝居でも頑張りたい」。

■東出昌大さん「多くの方々に楽しみにしているという声をいただいた。久坂玄瑞もここを歩いたのだらうと思いを馳せながら芝居をした。歴史上の先陣の人たちの志を背負って、思いのこもった襷を受け継いで、精一杯できればと思います」。

■優香さん「萩は空気がきれい、どこも本心に気が持がよく、伝統的なものがたくさん残っている素敵なところ。寿さんと楳取さん夫婦が住んでいた二条窪（長門市三隅）に行つて、お話を聞くこともできました。素晴らしい役をいただけとても嬉しく思っています」。

■原田泰造さん「萩に来て墓参りをしたときに、ハチに追い返されたが、梅太郎さんがハチの姿になって、僕に頑張れと言ってくれているのではと思いました。司馬遼太郎の小説を読み返し、出てくる場所がここかと思うと興奮。そのような場所がたくさん残っているのが本当に楽しいです」。

**萩博物館 特設展示室**

兄松陰と妹文、杉家の家族愛

吉田松陰が旅先や獄中から家族へ送った手紙、文の家族宛ての手紙など、杉家から萩市に寄贈された貴重な資料を展示し、家族愛に満ちた杉家を紹介。

■期間 11月8日（土）～平成28年9月

■ところ 萩博物館

■開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■観覧料 大人510円、高校・大学生310円、小・中学生100円

■問い合わせ 萩博物館  
(0838・25・6447)

**松陰神社宝物殿 至誠館**

特別展 吉田松陰が生まれた杉家とその家族、妹たちとの絆

杉家の強い絆や松下村塾の塾生達との深いつながりを、松陰が妹たちに宛てた書簡などの展示資料を通じて紹介。

■期間 10月11日（土）～平成27年10月13日（火）

■ところ 松陰神社宝物殿至誠館

■開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■入館料 一般500円、中・高校生250円、小学生100円

■問い合わせ 松陰神社宝物殿 至誠館  
(0838・24・1027)

杉文ふみの毛利家奥入りは

## 史実だった！

## 山口県文書館に証拠あり

杉文（楳取美和子）に関する史料は非常に乏しい。だが、文の出生地の萩で、現在学芸員をしている私には、可能な限り史料を掘り起こし、多くの人に向けて信頼の置ける情報を提供する責務がある。私はそのように自覚し、常にアンテナを張っているが、どうしても急いで検証しておかねばならない問題が残されている。それは、文は毛利家の奥に入っていたといわれているが、本当に史実なのかというものである。「奥」とは、い

わずもがなであるが、江戸時代、將軍や大名の妻女が住んでいた場所を意味する特殊な用語である。そこで先般、私はこの問題を検証するため、山口県文書館に3回ほど通って史料を探してみた。可能性のありそうな史料を点検していくと、ものの見事に命中した。

文は、慶応元年（1865）9月25日に毛利安子（長州藩世子毛利元徳夫人）の奥女中となり、間違はなく毛利家の奥に入っていたのである。数えて23歳という若さ

であった。

ただし、私はまだすべての史料を点検し終わっていない。だからといって、悠長に構えている余裕はまったくない。大河ドラマ「花燃ゆ」の放映開始まで、わずか4か月しか残されていないからである。まさに喫緊の課題であるので、中間報告的な内容になって恐縮であるが、今回は、文の奥入りに関して現在判明していることをお伝えしたい。

## これまでは

## 根拠が弱かった

ところで、NHKの最新の発表によると、「花燃ゆ」には「4つのドラマがある」そうだ。それは、「幕末のホームドラマ」「幕末の学園ドラマ」「女たちの戦いのドラマ」「男たちの命懸けのドラマ」というものである。

このうち、今回検証しようとしている文の毛利家奥入りの話は、3番目の「女たちの戦いのドラマ」に該当する。ちなみに、ドラマがどのような「女の戦い」を描くかという点、下級武士の家で育った

文が奥に入り、身分と気位の高い女性たちに囲まれて自分の居場所を作ることができるのか、というもののようである。

それはさておき、私は文書館で史料を見つけるまで不安で仕方なかった。なぜなら、文の毛利家奥入りについては、根拠とするには非常に弱い材料しかなかったからだ。

たとえば福本義亮『吉田松陰の母』（誠文堂新光社、1941年）に、次のような一節がある。「久坂玄瑞が」護国の鬼神と化したので、文字は、二十二歳のうら若き身をもつて孤独の寡婦となり、まことに哀れな運命に逢ったのである。その後は、老父母の膝下において、亡き夫の英霊を弔ひつつ、まことにあじきない歳月を送っていた。一時は口ざされて藩公の幼君（後の毛利元昭公）の傳役となり名も美和と改めた」（読みやすくするため引用者の責任で原文に一部手を加えた）。

この一節によれば、文は毛利元昭（元徳・安子夫妻の長男）に仕えて美和と改名したことになるが、それがいつのことであったかはわからない。とくに問題となるのは、福本が何を根拠としてこの一節を書いたかであるが、出典が示されていないため、検証しようにもその手段がない。福本の著作以外にも、文の毛利家奥入りに触れた文

献は複数あるが、いずれも出典不明瞭で五十歩百歩といわざるをえない状況だ。

## 史料調査の経過

そこで私は、毛利家の史料について精通しておられる毛利博物館の前館長、小山良昌氏に質問をした。すると小山氏より、「山口県文書館に『女儀日記』というのがあるから、もしかしたら文が奥に入ったことについて何らかの史料を得られるかもしれない」という教示を得た。これがヒントとなり、文書館のホームページで史料を検索すると、たしかに「女儀日記」があった。ただし「女儀日記」というのは、文書館を代表する史料群、毛利家文庫のうちの二分（カテゴリー名称）である。詳しく見ていくと、次に掲げる2件の史料の所在を確認できた。いずれも、毛利安子付きの女中に関する日記である。

一つは、「宝印溜りノ間」手拍かり日記（一六冊（史料1）で、期間は文久2年（1862）7月1日から明治4年（1871）12月30日までである。

今一つは、「宝印御右筆間」日記（七一冊（史料2）で、期間は文久2年（1862）11月2日から大正14年（1925）7月26日までである。

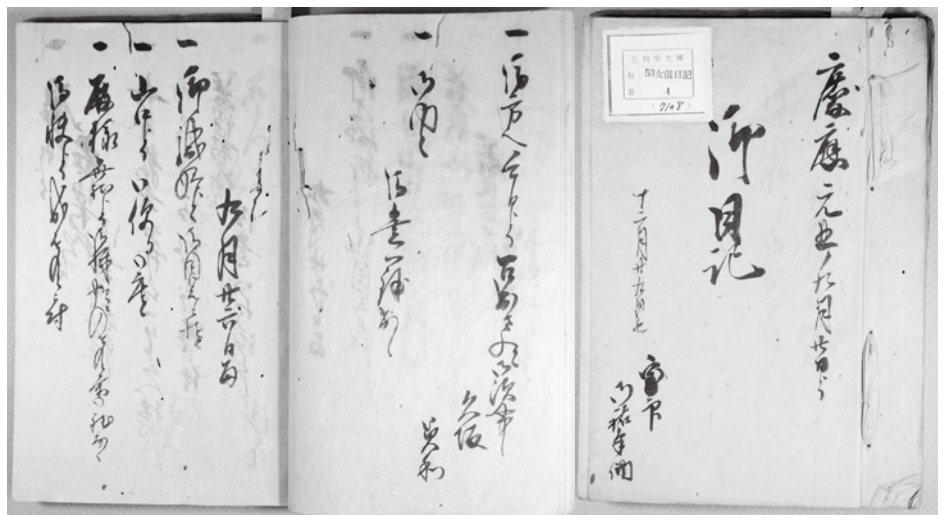
まず、分量の少ない史料1のほうから点検した。文久2年から3年にかけては該当なしであった。元治元年（1864）から慶応2年（1866）までの丸3か年は日記そのものが欠如していた。慶応3年以降、「美和」という名が頻繁に見受けられるようになるが、この女性を杉文と断定するには決め手を欠くように思われた。よって、史料2の方に否が応でも期待が高まったが、これがまさに決定的証拠となった。慶応元年9月25日のくだりに、「一、御方へ今日より召し出され候。御次女中、久坂美和」という記述を見つけたのだ。私はその瞬間、思わずガッツポーズを作ってしまった。

## 毛利家奥入りの時期にも納得

見つけた一文を詳しく見てみよう。「御方」は貴婦人や姫君を敬つていうもので、ここでは毛



史料1 [宝印溜りノ間] 手拍かり日記 (山口県文書館所蔵)



史料2〔宝印御右筆間〕御日記（山口県文書館所蔵）

利安子を指す。「御次」は貴人の居室の次の間を意味するが、そこに控える奥女中を指す言葉でもあるから、「御次女中」は奥女中の意となる。つまりこの一文により、冒頭でも紹介したように、文は慶応元年（1865）9月25日に毛利安子の奥女中になったことが確定したのである。また、この時点ですでに「久坂美和」と称していたことも注目に値する。

しかし現時点では残念ながら、

この日に文が奥女中に登用された理由はよくわからない。とはいえ、この頃の長州藩では、すでに高杉晋作らが棕梨藤太らを一掃し、桂小五郎（木戸孝允）が政権を掌握していた。藩論は武備恭順、つまり幕府に謝罪の意を示しつつも攻撃されれば徹底的に抗戦するという考えに統一されていた。これらの史実を踏まえると、長州藩が禁門の変に破れて朝敵となる原因を作った久坂玄瑞の妻、文がこの時期に毛利家に迎え入れられたことも、十分納得できる。

6日のくだりに、「一、日帰りに

から、おそらく久坂家を継いだ久米次郎（道明）をそのまま杉家に残して、一人で山口へ移り、毛利家の奥に入ったのであろうと考えられる。なお久米次郎は、実は小田村伊之助（楯取素彦）・寿夫妻の次男で、玄瑞の生前に養子に迎えており、慶応元年時点では8歳という幼年であった。

この日の文が奥女中に登用された理由はいくつかある。まず、日帰りに休暇を得たことがわかる。また、それから半年後の翌慶応2年5月13日には、「一、今日より気分相に付き保養下り候御方御次 美和」とある。「気分相」は、独特の言い回しだが長州ではよく使われる言葉で、具合が悪いという意味である。彼女がしばらく保養のため安子のもとを離れたことがわかる。私の想像にすぎないが、文は、久米次郎の顔を見たくて萩へ帰省したのかもしれない。なお今のところ、文がいつ元昭のお守り役に就いたかについては、史料を探しきれていないので、あと数回は文書館に通ってリサーチを継続する予定にしている。

ともあれ、「雑芸員」とも揶揄される芸芸員の仕事のなかで、私がかたく重要だと考えているのは、真实性を保証することである。真实性の保証とは、本物であることが証明することにほかならない。今回、このようにしてまた一つ、文に関する新たな史実の確定ができたことをとても喜ばしく思う。

最後に、この文章を書くにあたり、本文中にお名前を記した小山良昌氏のほか、古城春樹氏、山本栄一郎氏からも貴重な情報を頂戴した。ここに記して御礼申し上げる。

道迫真吾（萩博物館主任学芸員）

## 小冊子「文と萩物語」を刊行

萩市大河ドラマ「花燃ゆ」プロジェクト推進協議会が、ヒロインの杉文（楯取美和子）を紹介する小冊子を刊行しました。

この小冊子は、文の母・杉滝、兄の吉田松陰、最初の夫である久坂玄瑞、再婚した夫の楯取素彦との関連に注目しながら、文の生涯をわかりやすく解説しています。

また、松陰が作った和歌を書き写した文の書など、初公開となる資料などもカラー写真で紹介しています。



- A4判カラー、12ページ
- 価格 100円（税込）
- 販売所 萩博物館ミュージアムショップ※電話での注文・配送可（別途送料が必要）
- 0838・25・3177
- 問い合わせ 萩市大河ドラマ推進室（0838・25・3139）

## 萩・明治維新150年記念事業 プロジェクト長州おはぎ

平成30年の明治維新150年に向けた記念事業の一つで、萩高校の生徒や卒業生、NPO萩元気食の会を中心に長州おはぎを復活。市内外でPRするプロジェクトが、7月から市内のイベント等で行っています。

やりとりしたプロジェクトからの呼びかけに萩出身の井町正さん（萩高4期）が創業された京都の京伏見菓匠「和晃」が協力し、9月13日から京都でも販売が決定しました。



長州おはぎは、元治元年の9月に、京都で流行したと伝わるもので、盆の上に箸と3個の「おはぎ」で毛利家の家紋「一文字三星」を表し、石高36万石にちなみ、36文で売られ、買うときには、「負けてくれ安くして」「いや一銭（一戦）も負けん（安くしなご）」と

販売場所 京ぽんと祇園菓舎（京都市東山区祇園町南側532）

営業時間 午前11時～午後7時

定休日 水曜日（祝日の場合は翌日）

長州おはぎ 360円

※萩焼皿付きは1000円（予定）

075・5333・7578

http://www.okashi-wakou.co.jp

狂言師・和泉流二十世宗家、萩ふるさと大使

# 和泉元彌さん

(東京都在住、40歳)



萩とのご縁が重なって

15年前に姉のご縁で、田万川で2年にわたり2度公演をさせていただきました。その後、そのご縁が広がり、萩市民大学教養講座、萩ロータリークラブ主催公演、また、椿東小学校、大島小学校、見島小中学校の子ども達との交流もさせていただきました。平成16年の萩開府400年の折には、吉田松陰先生を題材とした新作狂言の制作のご依頼を頂き、公演させていただきました。

そして昨年、「萩ふるさと大使」に就任させていただきました。萩ファン、松陰ファンには多くの方がいらっしやる中で選んでいただき、光栄に思っています。

## 「復興支援 和泉元彌 狂言公演」で熱演



新作狂言「至誠」を演じる和泉さん  
(7月26日田万川「コミュニティセンター」)

### プロフィール

1974年(昭和49年)東京都生まれ。和泉流二十世宗家。4歳で初舞台を踏み、若くから多くの狂言を演じ評価を得るとともに、海外公演なども行う。2001年大河ドラマ「北条時宗」で主演。04年萩開府400年記念萩市民大学教養講座特別編で新作狂言「吉田松陰語」「至誠」を披露。13年「萩ふるさと大使」に就任。

### 新作狂言「吉田松陰」「至誠」への想い

人生には浮き沈みがあるのが当然の世の中で、松陰先生が生涯を通して、後世の人の心の励みになるような人生を体現されたのは本当にすごいことです。

私が新作狂言の制作に取り組んだのは30歳の頃ですが、すでにその歳には松陰先生は亡くなられています。しかし先生は、年齢に関わらず何かを残すということ、生きる姿勢や物事に臨むときの心構えなど、確たるものを持っておられたのだと感じました。

自分が伝統の中に生きながら、今の時代に伝え、未来に残していくという、つなぎ目の役割をしている中で、大きな勇気をいただきました。そして、新作狂言を作らせて頂けたのは、松陰先生からの目に見えないメッセージをいただいたているのだと感じました。

### 豪雨災害の現地を訪れて

東京という離れた地にもニュースは飛び込んできました。映像で見ただけでも胸が痛くなりました。大変なことが起きているのが分かっていたので、この度、やっと慰問や復興公演に伺える事を喜びながらも、どんな言葉をおかけすれば、皆さんを励ますことができらるだろうかと悩んでいました。

### 特別養護老人ホーム阿北苑の訪問では、入所者の方々とスタッフの皆さんが一歩ずつ前を向いて、しかも下ではなく、上を向いて歩んでこられたことが感じられる、

はつらつとした顔をしておられたので、反対に自分たちが安心感と勇気をいただきました。ただ当時の様子を聞くと、やはり人任せで救われるということはなく、住民の皆さんや行政の方々がこの一年を自分自身で立ち上がり、互いに励まし合い、できることを精一杯取り組んでこられたからこそ、県外からも多くの方々の協力を得ることもでき、ここまで復興したのだと感じました。

だと感じました。

しかし、まだ至る所に土嚢を積んで応急復旧している様子を見ると、たった3時間の豪雨という自然の力に対して、人間の力では、1年、2年、3年とこれからも時間が必要だということ、決して忘れてはいけないという事を、現地に立って思い知りました。

復興に関しては私たち和泉流宗家にできることは、狂言師として萩を訪問させていただくということ、も一つですが、萩で感じたこと、見聞きしたことを自分を通して全国の多くの皆さんに発信していかなければいけないと思い、改めて「萩ふるさと大使」の役割と一致し、役目を果たすことができるのではと思っています。

### 萩を第二のふるさととして

萩は日本全国、いいえ、世界に誇ることができるまちです。ふるさと大使に就任して、萩を第二のふるさとと思っています。身内びいきでこれからも、萩の土地や歴史の中で育まれた、偉人や特産物など様々な物事を通して、人の心や生き様までも、萩の素晴らしさを伝えていけたらと思います。

何より狂言師として、新作狂言を作らせていただいた事も自信となっているので、ぜひ各地で演じながら萩の魅力を広めていきたいと思っています。



## 農産物直売所とレストランを併設 萩・むつみの恵

企業組合むつみ・キッチンばあ〜ば 代表

山本 ヒロ子 さん (64歳)



むつみ豚のミルフィューユかつ定食 (850円)

となりました。

### 萩・むつみの恵オープン

国からの補助金を受け、今年3

月30日に「萩・むつみの恵」がオープン。週3日の弁当製造・販売に加え、農産物直売所とレストランの施設全体の管理・運営もすべて私たちが行っています。直売所では、現在、60の個人や団体が登録し、地元農家の方たちが持ち込む新鮮な野菜のほか、むつみ豚などの特産品や農産物加工品、手づくりの手芸・工芸品などを販売しています。

またレストランでは、むつみ豚や近くに牧場を持つ秋川牧園の鶏肉を使用した定食などを提供しています。もちろん使用する野菜のほとんどは、直売所に持ち込まれた新鮮な野菜です。また夏季限定で、むつみ産のトマトを使用したジュースや夏野菜カレーといった新メニューも開発。メンバーで試食を重ねながら、今後もむつみならではのメニューを開発し、提供していきたいと思っています。

### 生きがいを感ぜられる場所に

自然に囲まれた中でいただく料理に、地域外から来られたお客様にもお喜びいただいています。が、地元の方にも多くお越しいただいています。直売所に持ち込まれる自分たちが作ったものが収入につ

萩津和野線の上に位置し、「むつみ昆虫王国」や「ひまわりロード」など、むつみ地域の観光資源が集まる伏馬地区に、今年3月30日、農産物直売所とレストランを併設した施設「萩・むつみの恵」がオープンしました。

運営するのは、地元の女性起業グループ「企業組合むつみ・キッチンばあ〜ば」です。施設全体の管理・運営を女性起業グループがすべて行うのは、山口県内でも珍しい事例です。代表の山本ヒロ子さんにお話を伺いました。

### 定年退職後もまだまだ働きたい

4年前まで、萩阿西商工会に勤務し、経営指導補助員をしていました。定年退職後、しばらくは

ゆっくりしていたのですが、まだまだ働きたい、地域に貢献しながら、新たな生きがいを見つけないかと思っていました。私と同じように勤務先を定年退職した友人と、何かできることがないだろうかと考えていたところ、その友人が老人介護施設の調理員をしていたことから、高齢者や事業所向けの弁当を作って販売しようということになりました。

そこで、2年前の10月頃から、同年代の知り合いなどに声をかけ、働く場を探していた女性10人が集まり、「キッチンばあ〜ば」の活動が始まりました。

### 地元産野菜たっぷりの弁当づくり

集まったメンバーは、看護師や

幼稚園教諭、介護職に就いていた人など、これまでに経験してきた職種はさまざま。ベテラン主婦ばかりではありませんが、弁当の製造・販売は初めての経験でした。

昨年4月から、週2回、事業所や高齢者向けに弁当の製造・販売を開始。化学調味料は一切使わず、いりこや昆布などから丁寧にだしを取ることで、地元の旬の野菜を中心にすべて手づくりすることにこだわっています。体に優しく、野菜本来の旨みが味わえる弁当は口コミで評判が広がり、注文も増えていきました。

そして、昨年7月、メンバーも15人に増えたこともあり、企業組合として法人化。当時は、公的施設の一角を借りて調理をしていましたので、いつかは自分たちの店舗を構え、レストラン経営にも挑戦したいと思っていたところ、市から施設設置の話を受け、「萩・むつみの恵」がオープンすること

### ■萩・むつみの恵

住所 萩市大字高佐下2674・76  
営業時間：8時～18時  
※レストランは、11時～14時  
定休日：月曜日、年末年始  
☎08388・80808



むつみキッチンばあ〜ばの皆さん



地元こだわった銘菓を作りたい  
はぎかしょうしん  
**萩菓匠 慎 社長**

## 村田 慎太郎さん

(萩高平成6年卒 39歳)

もありました。そこで、その元洋菓子職人の方を迎え、萩市民が慣れ親しんだ神戸屋の味をベースにした菓子店「萩菓匠 慎」を昨年10月に開業したのでした。

### 神戸屋の味を復刻

当初は、販売店舗がなかったため、村田蒲鉾店の旧本店だった場所の一角を借りて商品を製造し、村田蒲鉾店や市内のホテル、道の駅などで販売を始めました。観光客が訪れる城下町で店舗を構えたいと検討していたところ、

「カフェテリア異人館」(呉服町2・61)の前オーナーより経営を受け継ぎ、今年2月から異人館の店頭でケーキを販売しています。神戸屋の味をそのままに復刻した大人気のシュークリームやプリンアラモード、チョコザーネなどのほかに、新たに開発した商品を含めて、現在、10種類の洋菓子を販売しています。

こうして、神戸屋の味が復活したと徐々に口コミで広がり、その懐かしさからご購入いただく方も多く、リピーターも増えてきました。また4月末からは、異人館すぐそばの空き店舗だった場所に、「みやげ処村田」をオープン。弊社で製造した焼き菓子をはじめ、

萩の土産物の定番である夏みかん菓子や蒲鉾、萩焼などの土産物を販売しています。萩城下町(中央公園駐車場)のすぐそばということもあり、観光客の方にお越しいただいています。

### 新たに親んでもらえる味を

今年6月には、道の駅萩往還からのお声掛けにより、神戸屋の人気商品だった「レモンケーキ」も復刻しました。また、そのレモンケーキをベースに夏みかんチョコレートでスポンジケーキをコーディネートした新商品「代々」も販売。他にも、夏みかんクリームを

サンドした焼き菓子「萩風」や「ブッセ」など、萩ならではの商品を新たに開発し、観光客をターゲットに販売をしています。

神戸屋の味を復刻したことで、訪れるお客様からは、「懐かしい」という喜びの声を多くいただいています。ですが、それだけでは長期的な展望は難しいと考えています。ですので、今後はその味を残しつつも、新たに親しんでいただける菓子を作っていかなければならないと思っています。海産物に取って代わるような土産物として、地元こだわった銘菓を作り、広めていきたいと思っています。

一昨年8月、多くのファンを持ちながらも閉店した菓子店「神戸屋」。その神戸屋の味が、城下町にある「カフェテリア異人館」で復活し、人気を集めています。異人館の経営者でもある「萩菓匠 慎」社長・村田慎太郎さんにお話を伺いました。

### 蒲鉾販売から菓子店経営へ

実家は、昭和36年創業の村田蒲鉾店で、私は次男として生まれました。萩高校を卒業後、大阪の追手門大学経済学部へ入学。当時は家業に入ることは考えていなかった。卒業後は東京の通信建設会社に経理担当として入社しました。ですが26歳の時、3年間務めた会社を退職。萩へUターンし、村田蒲鉾店に入社後、下関支店や椿東店で、主に店頭での販売業務

に携わりました。ですが、新たに自分で事業を立ち上げたいと思い、昨年8月に村田蒲鉾店を退職しました。

12年間、萩の土産物の代表格である蒲鉾を販売していましたが、蒲鉾などの海産物に対して、土産物の菓子を製造・販売している菓子店が少ないことから、萩の観光業の弱みでもある反面、開発の余地がある分野だと思っていました。また、私自身も甘いものが好きだったこともあり、菓子店を始めようと思いついたのです。

そんな中、知り合いを通して、神戸屋に35年ほど勤務されていた洋菓子職人の方をご紹介いただきました。私自身も、幼い頃から神戸屋のケーキやパンが好きでしたし、周囲からも、あの味をまた食べたいという声を耳にすること

「カフェテリア異人館」(呉服町2・61)の前オーナーより経営を受け継ぎ、今年2月から異人館の店頭でケーキを販売しています。神戸屋の味をそのままに復刻した大人気のシュークリームやプリンアラモード、チョコザーネなどのほかに、新たに開発した商品を含めて、現在、10種類の洋菓子を販売しています。

こうして、神戸屋の味が復活したと徐々に口コミで広がり、その懐かしさからご購入いただく方も多く、リピーターも増えてきました。また4月末からは、異人館すぐそばの空き店舗だった場所に、「みやげ処村田」をオープン。弊社で製造した焼き菓子をはじめ、

■カフェテリア異人館  
住所：萩市呉服町2・61  
営業時間：9時～17時30分  
定休日：木曜日  
☎0838・25・6334

■みやげ処村田  
住所：萩市呉服町2・58(江戸屋横町南側・異人館の斜め前)  
営業時間：8時～17時  
定休日：なし(年末年始は休み)  
☎0838・21・7432



レモンケーキ  
(1個162円)



シュークリーム  
(1個150円)







## ごま えもん 胡麻衛門

萩産のごま油を卓上の存在に  
株式会社 HSK

間引きも数回行わなければならぬことや、収穫後に乾燥させた胡麻を竹の棒で叩いて落とし、さらに振るいにかけるなど、出荷までには手間暇がかかることから、なかなか栽培が広まらないようです。ですが、萩で貴重な国産胡麻が栽培されていることや、そのおいしさをもっと多くの人たちに知ってほしい。ごま油を商品化することで、大島の胡麻栽培を盛り上げていくことができるのではないかと、そんな思いで昨年2月から中村商店の一部門で商品開発と準備を進めてきました。ごま油の製造を移行して、昨年11月に、ごま油を製造・販売する株式会社HSKを設立しました。

香りがまろやかな「金ごま」の3種類を製造しています。芳醇なごま油を作るためには、製造にも手間と時間がかかります。1本のごま油がで上がるまでに約1週間は必要です。一つひとつの作業にじっくりと時間をかけることよって、独特な胡麻の旨味や香りを保つことができ、深い味わいのごま油を作り出すことができます。その味には、私たちも自信を持っています。

やかな香りと胡麻の深い味わいが楽しめるため、火を通すよりもフレッシユな状態で味わっていたくことをおすすめしています。お客様からの「おいしい」という声は、私たちの励みになっています。今後は、市内の飲食店とコラボレーションをして、ごま油を使用した料理などを提供していただくことで、萩産のごま油の知名度と調理方法を広めていきたいです。将来的には、都市部にも販路を拡げていきたいと思っています。

されていることを知りました。

胡麻の国内自給率が1%を切っているといわれる中、萩でおいしい胡麻が栽培されているのであれば、ぜひ、その胡麻を使用したいと思ったのです。そこで、榨油を製造している地元の搾油機メーカー「サン精機」さんにご協力いただき、実際に萩産の胡麻を絞ってみると非常に味も良かったため、店で使用し始めました。

### 丹精込めて作るごま油

販売開始当初は、知り合いに営業を行ったり、ホームページからネット販売をしたりしていました。次第に、SNSなどを通して口コミで広がり、現在は市内の道の駅や土産物店、JR新山口駅構内にある井上商店さんの売り場の一角などで委託販売も行っており、贈答用や土産物として、徐々に売上が伸びているところです。

また、大島の農家の方々にJ Aを通して耕作面積や収穫量を増やしていただくようお願いをしているところですが、農家の方々の苦勞を無駄にしないためにも、貴重な萩産胡麻を加工販売していくことで、互いに相乗効果を生み出すことができたかと思っています。

日本で使用されている胡麻のほとんどが輸入に頼っているといわれている中、萩産の胡麻を使用したがごま油「胡麻衛門」が誕生しました。商品化した市内焼肉店「NIKKU JIROU」(土原)の経営者の一人で胡麻衛門役員の杉山芳文さんとスタッフの大江江里子さんにお話を伺いました。

### 焼肉のたれづくりにかじり生まれた萩産ごま油

そもそもの始まりは4年前、吉田町の有限会社中村商店代表の中村博さん達と共に、焼肉店「NIKKU JIROU」を共同経営し始めたことがきっかけです。

タレに使用するごま油を自分たちで手づくりしたいと思い、原料の仕入れをJ Aに相談したところ、日本海に浮かぶ大島で胡麻が栽培

### 大島の良質な胡麻を使用

大島の胡麻は、ミネラル分を多く含んだ土壌で育まれています。

大島といえば、葉たばこ栽培が盛んなことで知られていますが、昔から自家用に胡麻が栽培されていたようで、現在は8戸の農家がJ Aに胡麻を出荷しています。

胡麻は連作には不向きなうえ、



スタッフ 大江江里子さん

今年3月から「胡麻衛門」というブランド名で、萩産の胡麻を100%使用したごま油と、輸入胡麻を使用したオリジナルブレンドのごま油の販売を始めました。さっぱりとした味わいの「白ごま」、濃厚な味わいの「黒ごま」、

#### ■胡麻衛門

場所/萩市大字吉田町 22  
営業時間/9時～16時  
定休日/土・日  
☎0838・21・7411  
<http://gomaemon.jp>



#### 100%萩の胡麻を使用 (100ml)

- 金ごま油 3,000円 (税抜)
- 白ごま油 2,600円 (税抜)
- 黒ごま油 2,800円 (税抜)

#### 胡麻衛門オリジナルブレンド(100ml)

- 金ごま油 1,200円 (税抜)
- 白ごま油 1,000円 (税抜)
- 黒ごま油 1,100円 (税抜)

来館者100万人を突破!

萩博物館は「萩まちじゅう博物館」の中核施設として、萩開府400年を記念して、2004年11月11日に開館し、まもなく10周年を迎えます。節目を前にした7月11日、来館者が100万人を達成しました。

の裕美子さん、妹のあゆみちゃん。春君は、「びつくりしたけど、嬉しい」と話しました。

大河ドラマ「花燃ゆ」で宮部鼎蔵役のビビる大木さんもお祝い

セレモニーには、偶然旅行で萩博物館を訪れていた、「萩ふるさと大使」のビビる大木さん（タレント）、AKINAさん（歌手）

萩博物館は、親子で楽しむことができる「自然」をテーマにした企画展や、吉田松陰、高杉晋作など萩ゆかりの人物にスポットを当てた展示等により、全国各地から観光客が多く訪れており、9年8か月での大台突破となりました。

100万人目となったのは、現在開催中の特別展「最強昆虫列伝」（9月7日まで）を見に来た、浦本春君（萩市山田）と、母親

有名で、今回も夫妻で高杉晋作資料室やゆかりの地などを訪れ、来館者100万人のメモリアルを盛り上げていただきました。

■問い合わせ 萩博物館

（0838・25・6447）



（左から）AKINAさん、浦本さん家族、ビビる大木さん、野村萩市長

豪雨災害からの復興を!

大輪の花に願いを込めて



尺玉花火

7月28日、昨年は同日に萩市東部集中豪雨災害が起こり

中止となった「須佐湾大花火大会」が開催されました。今年是被災者を勇気づけたいと、復興への想いを込めた尺玉花火を7年ぶりに打ち上げました。

「クラウドファンディング」という手法で3月末から経費を募り、300人を超える出資により30発の尺玉花火の打ち上げが実現しました（328人、278万8000円）。

萩ふるさと大使で須佐出身のアニメソング歌手のきただにひろしさんも広く出資を呼びかけ、自らも出資。また、アニメソング界で大人気の影山ヒロノブさん、遠藤正明さんとともに復興の応援に駆

けつけ、アニソングライブを開催し、大熱狂となりました。約1万5000人の観客は、夜空に輝く美しい大輪の花火に復興への想いを願いました。

復旧工事の期間中はバスによる代行運転を行っていましたが、雨なども少なかったことから工事が順調に進み、お盆前の再開となりました。

約1年ぶりに JR山陰線が全線開通

昨年7月28日の萩市東部集中豪雨災害で、土石流や須佐川の濁流で橋脚が損傷するなどにより、須佐駅～奈古駅間の約20kmが不通となっていたJR山陰線が、8月10日に再開しました。



復旧した橋の上を走る列車

野崎洋光(東京・西麻布「分とく山」料理長)と行く 魚食の旅 萩市を訪ねて 大人の修学旅行

- とき 10月5日(日)～6日(月)
- 行程 (羽田空港発着)
- 【1日目】長門ゆずきちと柚子の収穫体験、昼食(漁師料理)、萩ガラス工房、萩の食を味わう地元の方との交流会ほか
- 【2日目】萩ちりめん製造見学、萩焼体験、収穫ゆずでポン酢づくり、昼食(野崎料理長による萩の魚料理)、松陰神社、萩しーまーとほか
- 料金 5万4,800円(1朝食2昼食1夕食、体験料等込)
- 定員 20人(最少催行5人)
- 問い合わせ NTAトラベルはぎ本店 (0838・21・0020)

## 安倍首相が 世界遺産登録の 後押しを約束！

理事の八木重二郎防長俱樂部理事長が「この会議が、世界の産業遺産の管理保全に貢献することを期待する」と宣言。会議では、専門家による基調講演や、「鉄鋼業」、「造船業」、「稼働資産」など8つの分科会などで、改めて産業遺産の保全策等が議論されました。

### ■萩市長が決意表明

レセプションには、関東地域の萩ネットワーク会員や萩の同窓会関係者も多数参加いただき、来年夏頃の世界文化遺産登録に向けての機運を高めました。

安倍晋三首相も出席して支援を約束。野村萩市長が関係者を代表して、「近代産業遺産は世界史の奇跡であり、誇りを持って次の世代に伝えていくための機会が、世界

文化遺産登録である」とあいさつ。全員によるガンバローコールで締めくくり、決意を新たにしました。

### ■萩市には5つの資産

「明治日本の産業革命遺産」は、8県11市の23件の資産で構成されています。萩市には、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾の5つの資産があります。

今後、秋頃にイコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査があり、書類審査を含めた評価結果が来年春～夏に通知され、来年夏に開催される世界遺産委員会で世界文化遺産の登録可否が決定されます。

### ■問い合わせ

萩市世界遺産登録推進課  
(0838・25・3380)



野村萩市長が締めめのガンバローコール

7月14日・15日、内閣官房、「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会、産業遺産国民会議の3者の主催で、「産業遺産国際会議」が東京都で開催され、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録に向け、国内外の専門家が産業遺産の意義や保全の課題等について議論されました。

## 萩商工高校野球部 全国高校野球 山口大会でベスト4

「全国高校野球選手権大会」山口県予選で、萩商工高校がベスト4入りを果たしました。萩市内の高校がベスト4まで勝ち上がるのは、24年ぶりです。で、萩商工高校としては初の快挙です。準決勝の相手は強力打線を誇る熊毛南高校。5回で2点を奪うと、固い守りで8回までリードを保ちました。9回の裏に逆転され、惜しくも決勝進出を逃しましたが、選手達の活躍に萩市内は大いに盛り上がりました。



## 映画館「萩ツインシネマ」 存続のための寄付のお願い

NPO法人萩コミュニティシネマは、山陰西部で唯一の映画館「萩ツインシネマ」（萩市吉田町）の存続を目的に、平成16年7月に設立しました。

萩ツインシネマを支える1000人の仲間の会員の支援や運営ボランティアの協力等により市民シアターとして10年間、映画館を運営してきましたが、人口減や複合型映画館への流出、映画作（仕入れ）の高騰、老朽施設・設備の修繕にかかる多額の経費負担等により、活動継続が厳しい状況です。

山陰西部で唯一の映画館を残したいとの思いから寄付のお願いをしています。萩市での映画文化活動維持へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※寄付金額や個人・法人は、問いません。

■受付口座 山口銀行萩支店（普通）6382635、萩山口信用金庫萩支店（普通）0509736 / 口座名義 萩ツインシネマを支える1000人の仲間の会 代表 高雄一壽  
〒758-0047 萩市東田町18-4 萩ツインシネマ内

■問い合わせ 萩コミュニティシネマ（0838・26・6705）

## 参加者募集！ 第15回 維新の里 萩城下町マラソン

今年は、市橋有里選手（1999年世界選手権2位）をゲストランナーとして迎え開催されます。

■とき 12月7日（日）午前10時スタート

■ところ 萩ウエルネスパーク（スタート・ゴール）

■競技種目・参加資格

ハーフマラソン＝高校生以上、10km＝高校生以上、5km＝中学生以上、2km＝小学4年～6年・中学生女子、ファミリー（2km）＝親子のペア（小学生）

■参加料 一般3,500円、高校生2,000円、中学生1,500円、小学生800円、ファミリー3,000円

■定員 約4,000人

■申込方法

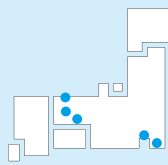
インターネット申し込みは9月30日、郵便振替は10月8日まで

○専用の申込用紙に参加料を添えて郵便局で申し込み

○インターネットで申し込み <http://hagictm.sakura.ne.jp/>

■主催 萩城下町マラソン大会実行委員会

■問い合わせ 萩市スポーツ振興課（0838・25・7311）



「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

## 萩高校同窓会総会・八八会

8月8日 萩高校体育館(萩市)



引受期の51期(平成11年卒)

「一年に一度のこの時を最高の笑顔で過ごして欲しい」という思いを込めたテーマは、「一期一会」。

会場では、100人の笑顔の写真で作った「一期一笑」の文字と、手作りの映像作品で来場者をお迎えし、さらに来年の大河ドラマ「花燃ゆ」で吉田松陰役を務める伊勢谷友介さんの登場に、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

この日のために、全国から51期卒業生66人が16年振りに集結。1年以上の時間をかけての準備は想像以上に大変でしたが、旧友との再会を喜ぶ来場者の笑顔が私たちの何よりのご褒美になりました。

みなさんの笑顔にまた再会できるように、51期一同は今後の八八会開催もしっかり協力していきたいと思ひます。

## つばき会山口支部

6月28日

ホテルかめ福(山口市)



つばき会として4回目、26人が出席。支部長の中嶋誠さん(昭和38年商業卒)が「友達や先輩と楽しい時間を」とあいさつ。池田誠次つばき会同窓会長からは、「質実剛健」「至誠一貫」「知行合一」の3つが刻まれた校訓碑が2月に高校玄関前に建立されたことを報告(2014年5月号で紹介)。校歌斉唱は、商業、工業、商工の校歌をそれぞれ1番のみ斉唱。

長州よさこい連による「男なら」等の演舞や、現役歌手として活躍されている阿部ウタ子さん(38年商業卒)の歌声などで会場は大いに盛り上がりました。

## つばき会広島支部

6月28日

ワークピア広島(広島市南区)



今年で6回目、来賓を含めて25人の会となりました。藤本正支部長のあいさつと中原洋美副支部長の乾杯。つばき会本部から三戸進理事、母校から品川豊勝校長のあいさつをいただき、土佐岡文夫事務局長の軽妙な進行で、参加者全員がそれぞれの近況等を報告するなど楽しい時間を過ごしました。

また、長年お世話をされた藤本支部長が、転居のため支部長を退くこととなり、中原副支部長が新支部長に就任されました。

会員投稿 

4月20日 九州黒太鼓 紅葉の里  
(東京都中央区)

## 指月中昭和30年卒 関東地区在住者の集い



昨年平成26年に続き、関東在住の指月中昭和30年卒業生の同期会を東京・銀座で開催しました。新たに参加した人、去年に続き参加の人、合わせて11人が写真の通り昨年と変わらぬ元気な姿で集まりました。

中には卒業後初めて会う人もいて、顔が分からず在学中の写真を見て思い出す一幕もあるなか、卒業から60年、今までの積もる話に会は大いに盛り上がり、予定した3時間も立ちどころに終わりが迫り、今年も校歌斉唱で閉会。「また来年も集まろう」と約束して別れた楽しいひとときでした。

山口雄三 (神奈川県横須賀市)

会員投稿 

5月13日 (東京都新宿区)

## 萩高昭和55年卒(32期) 東京地区同期会



毎年初夏恒例の同期会を、今年も開催することができました。連休の中日で、家族旅行などで都合がつかない人もいましたが9人が集まり、東京出張中で三重県在住の同級生も参加してくれました。

「最近老眼で細かい字が読みづらい」と近況報告があると、みんな「俺もそうだよ」とうなずいていました。

来年も海の日の前日に集まる予定です。

山根修二 (神奈川県厚木市)

8月10日 千春楽(萩市)

## 萩光塩学院同窓会本部総会



今年は、小・中・高の同窓会が合同になって5回目の会となりました。

総会では、新しく就任した中村<sup>やすみち</sup>柔道校長から「光塩の伝統を引き継ぎ、魅力ある学校作りを目指したい」とあいさつがありました。懇親会では、廣澤洋子会長のあいさつの後、福引き抽選会や校歌の全員合唱などで会場は盛り上がりました。

小学校で働いていらっしゃる先生方もたくさん来られ、卒業生との話に花が咲いていました。来年は8月10日開催予定です。さらに多くの卒業生と会えることを楽しみにしています。

会員投稿 

やまなみ

6月29日

## 関西山峡会

太閤園  
(大阪市都島区)



平成元年に創立した「関西山峡会」(旧旭村・川上村周辺出身の方々で発足)は、6月29日に第26回の総会と懇親会を開催しました。会場は大阪城に近い太閤園にて、関西在住の皆さん54人が参加して盛大に行われました。

青水勉 山峡会会長の開会あいさつで始まり、来賓の萩市議会議長 横山秀二様の祝辞と来年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」に関するお話をいただきました。また、関西同郷会会長代理 重村清様、山口県大阪事務所主査 中山広信様、旭サンファーム代表 河村昭正様、山口県スポーツ支援委員長山本孝徳様からもお祝いの言葉をいただきました。

第2部の懇親会では、26周年を記念して浪速の演歌歌手「大倉弓季さん」に素晴らしい演歌を披露してもらい大いに盛り上がりました。その後、カラオケ大会や豪華な品が当たる「くじ抽選会」を行い、時間がたつのも忘れるくらい皆で楽しみました。最後に来年も元気で再会を約束しながらみんなで「ふるさと」を合唱し閉会しました。

堀野 克麿 (大阪市)

# 情報アラカルト

## 北海道地区

### ■岡田裕 作陶展

10月22日(水)～27日(月)  
北海道札幌市中央区南一条西二丁目 丸井今井札幌本店  
(011・205・1151)

### ■岡田泰 作陶展

10月28日(火)～11月9日(日)  
北海道旭川市一条通り8・1  
西武旭川店A館8階  
(0166・21・0111)

## 関東地区

### ■東京指月会

関東地区の萩高同窓会。  
10月18日(土) 午後2時30分～  
東京都千代田区丸の内(東京駅丸の内北口) 日本工業倶楽部  
(090・7264・6954) 三浦

### ■つばき会関東支部総会

関東地区の萩商工同窓会。  
11月8日(土) 午後2時～  
東京都品川区大崎(大崎駅東口)  
ニューオータニイン東京  
(03・3373・4020) 野村

### ■東京須佐弥寛会

関東地区の須佐地域同郷会。  
11月15日(土) 正午～午後3時  
東京都港区高輪(品川駅高輪口)  
日立金属 高輪和彊館  
(090・2208・5873) 勝山

### ■現代陶芸「現象」展

現代陶芸の新たな騎手たちに焦点をあてた展覧会。岡田泰、濱中史朗、三輪華子の作品が出品。  
9月13日(土)～11月24日(月・祝)  
茨城県笠間市笠間2345  
茨城県陶芸美術館  
(0296・70・0011)

### ■Hanako's Teahouse

三輪華子の特別展示。  
9月20日(土)、21日(日)  
茨城県笠間市笠間2345  
茨城県陶芸美術館内 板谷波山田  
端旧宅工房  
(0296・70・0011)

### ■行動展

画家・藤崎恒頼が出演。  
9月17日(水)～29日(月)  
東京都港区六本木7・22・2  
国立新美術館  
(03・5777・8600)

### ■京北スーパー山口フェア

萩の物産が販売されます。  
9月26日(金)～10月2日(木)  
京北スーパー千葉県内8店舗(柏店、布施店、江戸川台店、鰯ヶ崎店、寿店、新柏店、天王台店、apris KEIHOKU)  
鎌倉生涯学習センター  
(0838・25・3811)

### ■三輪和彦「淵淵に立つ」

10月1日(水)～7日(火)  
東京都中央区日本橋2・4・1  
日本橋タカシマヤ

(03・3211・4111)

### ■紀ノ国屋「山口フェア」

萩の蒲鉾、夏みかん製品、ミドリヤの商品が販売されます。  
10月8日(水)～14日(火)  
紀ノ国屋首都圏6店舗(インターナショナル店(青山)、等々力店、国立店、吉祥寺店、鎌倉店、平塚ラスカ店)  
「やまぐち」の地酒と料理を堪能できます。萩市から、中村酒造、岩崎酒造、岡崎酒造、八千代酒造、澄川酒造場が参加(参加費8000円、先着500人、要予約)。  
10月10日(金) 午後7時～9時  
東京都文京区関口(目白駅東口)  
ホテル椿山荘東京 5階オリオン  
(0833・973・1710)

### ■やまぐち地酒維新

萩の蒲鉾、夏みかん製品、ミドリヤの商品が販売されます。  
10月10日(金) 午後7時～9時  
東京都文京区関口(目白駅東口)  
ホテル椿山荘東京 5階オリオン  
(0833・973・1710)

### ■山口県酒造組合

萩の蒲鉾、海産物、夏みかん製品等が販売されます。  
10月10日(金)、11日(土) 午前9時30分～午後4時30分(11日は3時30分まで)  
鎌倉市小町1・10・5  
鎌倉生涯学習センター  
(0838・25・3811)

### ■萩市フェア

萩の特産品が販売されます。  
10月22日(水)～24日(金)  
東京都中央区日本橋2・3・4

おいでませ山口館

(03・3231・1863)

### ■霞マルシェ

村田蒲鉾店の蒲鉾等が販売されます。  
10月22日(水)～24日(金)  
東京都千代田区霞が関三丁目2  
霞が関ビル  
(03・3502・3355)

### ■萩・世田谷幕末維新祭り

萩の夏みかん菓子、萩焼、地酒、海産物等が販売されます。  
10月25日(土)、26日(日) 午前10時～午後6時(26日は5時30分まで)  
東京都世田谷区 松陰神社人口若林公園前  
(0838・25・3333)

### ■アンテナショップフェスティバル

萩の物産も販売予定。  
11月1日(土)～3日(月・祝)  
東京都渋谷区神宮前  
表参道・新湯館ネスパス  
(03・3502・3355)

### ■岡田裕 作陶展

9月25日(木)～10月1日(水)  
愛知県名古屋市中区栄3・3・1  
名古屋丸栄  
(052・264・1211)

### ■三輪和彦「淵淵に立つ」

10月29日(水)～11月4日(火)  
大阪府大阪市中央区難波5・1・1  
大阪タカシマヤ  
(06・6631・1101)

## 中部地区

### 第61回日本伝統工芸展

陶芸家岡田裕、岡田泰、玉村信一、野坂和左、波多野善蔵、松尾藻風の作品が入選しました。  
◆東京展 9月17日(水)～29日(月) 日本橋三越本店  
◆名古屋展 10月1日(水)～10月6日(月) 名古屋栄三越  
◆京都展 10月8日(水)～13日(月・祝) 京都高島屋  
◆大阪展 10月16日(木)～22日(水) あべのハルカス近鉄百貨店本店(11階、24階)  
◆金沢展 10月31日(金)～11月9日(日) 石川県立美術館  
11月12日(水)～18日(火)  
愛知県名古屋市中村区名駅1・1・4  
ジェイアール名古屋タカシマヤ  
(052・566・1101)

## 関西地区

### ■三輪和彦「淵淵に立つ」

10月15日(水)～21日(火)  
京都府下京区四条通河原町西入真町52 京都タカシマヤ  
(075・221・8811)

### ■「やきものって何だ」巡回展

三輪壽雪(十一代休雪)の「鬼

萩窯変割高台茶碗」など、県立萩美術館・浦上記念館が所蔵するコレクションが展示されます。

10月5日(日)～12月14日(日) 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188・7 滋賀県立陶芸の森 (0748830909)

■4人展

岡田泰、渋谷榮一の陶芸作品が展示されます。

10月30日(木)～11月5日(水) 大阪市阿倍野区阿倍野筋1・1・43 あべのハルクス近鉄本店 (0666241111)

中国地区

■二次代の息吹 萩焼 船崎透・玉村信一二人展 10月30日(木)～11月5日(水)

新規(再)加入会員

- 竹下博子さん(兵庫県神戸市) 早川洋さん(山口市) 藤原大地さん(沖縄県沖縄市) 飛田美和さん(東京都品川区) 玉主要蔵さん(山口市) 三宅れいなさん(東京都大田区) 吉川直明さん(東京都葛飾区) 登城迪子さん(萩市) 吉村隆男さん(大阪府豊能郡) 岩本和雄さん(広島県広島市) 阿部ウタ子さん(山口市) 中原洋美さん(広島県広島市) (6月25日～8月24日 12人)

広島県中区胡町6・26 福屋八丁堀本店7階 (0822466111)

■西村不可止個展(セカンドシーズン) 萩市紫福出身で広島在住の油絵画家・西村不可止の作品展示。11月中旬まで

広島県安芸高田市八千代町勝田497・4 八千代丘美術館 (0826523060)

山口県

山口指月会

山口地区の萩高同窓会。 10月18日(土)午後6時30分～ 山口市湯田温泉 翠山荘 (08339332560) 中原

■毛利博物館「毛利家と幕末・維新・大河ドラマ「花燃ゆ」の時代背景」 明治維新を成し遂げるまでの毛利家の動向を8つのテーマで紹介。平成27年12月21日(月)まで 防府市多々良1・15・1 毛利博物館 (08335220001)

■腕前探訪「技あり!やまぐち」 船崎透、止原理美の陶芸作品。 岩川旗店の商品が展覧されます。 9月12日(金)～15日(月・祝) 午前10時～午後5時 防府市戎町1・1・28 防府市地域交流センター「アスピラート」 (08335265151)

■長岡あゆみピアノ演奏会 10月4日(土)午前10時～10時30分 山口宇部空港国内線ターミナルビル3階送迎デッキ 10月13日(月・祝)午後1時30分～ 山口市河原町5・12 クリエイティブスペース赤れんが (0839286666)

九州地区

九州指月会

九州地区の萩高同窓会。 9月14日(日)正午～ 福岡県福岡市大名2・6・60 西鉄ランドホテル (0932016303) 廣瀬

■見島中学校昭和40年3月卒業生同窓会 10月5日(日)午後6時～ 大分県別府市観海寺1 別府杉の井ホテル (09096454861) 山谷

■つばき会九州支部総会 九州地区の萩商工同窓会。 12月6日(土)午前11時45分～ 福岡県福岡市博多区博多駅前2・20・1 中華料理 頤和園 (09057440316) 上村

萩市関係

■萩商工同窓会つばき会本部総会 萩商工つばき会の本部総会。今年度から開催時期が、7月から10月第2土曜に変わります。

10月11日(土)午後6時～ 会費3000円(弁当代、福引代含む) 平安古町544 萩商工高校体育館 (0838220034) 小田

■村上歌子回顧展「再会」 萩第一中学校(現在の萩東中学校)で美術教師をしていた村上(旧姓高良)歌子の絵画展。 9月11日(木)～16日(火) 萩市民館小ホール (0836210796)

■彩陶庵企画展「十三世坂高麗左衛門展(陶器)」 10月18日(土)～24日(金) 萩市呉服町1・3 彩陶庵 (0838253110)

■萩市民大学教養講座(第1回) ○「天皇皇后両陛下のお歩み」羽毛田信吾(元宮内庁長官、萩高昭和36年卒) 10月22日(水)午後7時～8時30分 料金 1000円(1～3回講座のセット券) 萩市民館大ホール

(問) 萩市文化・生涯学習課 (0838253590)

■ウィレッジコンサート オーストラリア出身のジャズ・ベーシストのニッキ・パロット、ジョン・デイ・マルティーン(ピアニスト)、ティム・ホーナー(ドラム)ヤコブ・フィッシャー(ギター)のカルテット演奏。

10月19日(日)午後6時30分～ 午後8時20分(入れ替え) 料金 7500円 萩市土原291・1 喫茶ウィレッジ (0838256596)

テレビ情報

■NHK・BSプレミアム英雄たちの選択「高杉晋作と革命戦士が夢見た独立国家計画」(仮題) 10月2日(木)午後8時～9時(再放送)10月10日(金)午前8時～9時

出版情報

■「高杉晋作情熱と挑戦の生涯」 一坂太郎 文春新書「高杉晋作」(2002年刊)を改題し、加筆・修正して文庫化。 価格 720円(税別) 出版社 角川ソフィア文庫

■「吉田稔麿松陰の志を継いだ男」 一坂太郎 価格 1700円(税別) 出版社 角川学芸出版(角川選書)

プレゼント

○小冊子「文と萩物語」を10名様。 ■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。 10月20日(消印有効)。

## イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

10月1日(水)～13日(月・祝) 10:00～17:00

◇着物ウィーク in 萩 萩城下町周辺

10月10日(金)～12日(日) 18:00～21:00

◇萩・竹灯路物語 萩城下町周辺

10月10日(金)～13日(月・祝) 10:00～18:00

◇萩・田町萩焼まつり 田町商店街

10月12日(日) 9:30～

◇萩・魚まつり 萩地方卸売市場  
道の駅・萩しーまーと

11月8日(土)、9日(日) 10:00～16:00

◇萩ふるさとまつり 中央公園

11月9日(日) 8:00～

◇萩時代まつり 中央公園  
市内各所



### 着物ウィーク in 萩

江戸時代の城下町の町並みをとどめる萩で着物を着てまち歩き。日常と違った和の世界を楽しめます。パスポート片手に着物姿でまち歩きをすると、お食事処やお土産店等での割引が受けられるほか、和の体験プログラムや写真プレゼントなどもあります。

### 萩・竹灯路物語

1200基あまりの竹で作った灯籠が、夜の城下町を幻想的に浮かび上がらせます。竹の中でゆれる炎に照らされた江戸情緒あふれる町並みを着物姿で歩いてみませんか。



### 萩時代まつり

「萩大名行列」は萩市椿の金谷天満宮祭礼において、江戸時代から神社に奉納されてきた奉納行列です。「平安古備組」と「古萩町大名行列」を合わせて総勢200人を超える行列が市内を練り歩く歴史絵巻が繰り広げられます。

### 萩・田町萩焼まつり

約400年の伝統を誇り、観光土産品としても人気の萩焼。約40社が出店しての即売会のほか、萩の名産・物産展なども開催されます。お茶碗や抹茶碗、マグカップなどお気に入りの一品を探してみれば。



## 山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

### 上方の浮世絵

大阪・京都の粋と技

9月9日(火)

10月13日(月・祝)

大阪・京都で制作、版行された浮世絵は、江戸の浮世絵と区別して「上方絵」、「上方浮世絵」と呼ばれ、国内よりも海外で高く評価されてきました。この展覧会では国内所蔵品212件を展示し、約40年ぶりに上方絵を通覧します。

■観覧料 一般1,000円、70歳以上・学生800円、18歳以下無料

■休館日 月曜日(9月15日、22日10月13日は開館)

春好斎北洲「三代目中村歌右衛門の金輪五郎今国と四代目嵐小六のおみわ」  
文政4年(1821) 神戸市立博物館蔵



### 泥象 鈴木治の世界 11月1日(土)～12月23日(火・祝)

用途を持たない純粋な立体造形としての陶芸を求めて「泥象」をつくり続けた、鈴木治の没後初となる大規模な回顧展。

## 萩博物館だより

☎0838・25・6447

### 攘夷から倒幕へ 萩藩苦難の道 9月20日(土)

描かれた幕末の萩藩

11月24日(月・祝)

萩藩は攘夷決行や禁門の変による内外からの存亡の危機を乗り越え明治維新を成し遂げました。

最後の藩主毛利敬親に献上された長巻の絵巻物をメインに、禁門の変や四国連合艦隊の下関砲撃など萩藩苦難の道のりを絵図や絵図史料でたどります。

■観覧料 大人510円、高校・大学生310円、小・中学生100円

※10月22日は展示替えのため展示室を閉鎖します。



「萩両大川辺・奈古屋島辺之図」(部分) 毛利博物館蔵

### 海を拓いた萩の人々 12月6日(土)～4月5日(日)